「東京都地域医療構想」の実現に向けた設定指標の達成状況の確認について

資料3

○「東京都保健医療計画」では、「東京都地域医療構想」の実現に向けた、病床の機能分化及び連携を推進するための取組指標として、以下の２つの指標を設定。

（「東京都保健医療計画（令和６年3月改定）」 P.48）

各指標の設定目標と令和7年度実績

項目	指標名	策定時 （令和４年度病床機能報告）	目標値	令和７年度実績	達成状況	出典
東京の将来の医療（地域医療構想）	退院調整部門の設置数及び割合	393病院 70.4%	増やす 上げる	416病院 73.0%	A	令和7年度病床機能報告 ※退院調整部門：令和7年7月1日時点 ※病床稼働率：令和6年4月～令和7年3月
	病床稼働率 （病床機能別）	高度急性期：74.9% 急性期：69.7% 回復期：81.3% 慢性期：86.3%	上げる	高度急性期：79.4% 急性期：72.7% 回復期：83.8% 慢性期：88.0%	―	

※ 病床稼働率＝在棟患者延べ数÷（許可病床数×年間日数）×100
※ 病院全体での病床稼働率が30%未満である病院の病棟データは、異常値として集計対象から除外し集計

＜評価基準＞
A：達成している　　B：概ね達成している
C：やや達成が遅れている　　D：達成が遅れている
―：その他

達成状況の評価について

「退院調整部門の設置数及び割合」は、令和７年度実績は計画策定時に対して数の増加及び割合の上昇がみられることから、「A」（達成している）とした。

「病床稼働率（病床機能別）」は、近年の医療機関を取り巻く環境の変化等に応じて、新たな地域医療構想の策定に合わせて指標のあり方を見直すべきとの一昨年度の調整部会の意見を踏まえ「ー」（その他）とした。